

新医学系指针对応「情報公開文書」改訂フォーム

研究協力をお願い

昭和大学医学部、昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

卵巣癌手術摘出材料を用いた癌浸潤様式の新たな分類と生命予後の解析
1. 研究の対象および研究対象期間 2004年4月～2018年12月に昭和大学病院で卵巣癌と診断され手術を受けた方。
2. 研究目的・方法 高異型度漿液性癌の浸潤の仕方を分類し予後（病気の進み方）との比較検討を行います。過去15年（2014年～2018年）に昭和大学病院で病理診断された高異型度漿液性卵巣癌の患者さんを改めて分類し、その予後との関連を調べます。加えて、低異型度漿液性癌や境界悪性腫瘍、その他の組織型への応用の可能性についても検討します。方法は、病理標本（手術摘出材料）から切り出して作成したパラフィン切片から作成したHE染色標本を用い、光学顕微鏡を使って観察します。この解析結果を保存してあったカルテなどの臨床データと合わせて解析し、統計的に調べます。 研究期間 医学研究科 人を対象とする研究等に関する倫理委員会承認後、医学研究科長、昭和大学病院病院長の研究実施許可を得てから2022年 3月 31日
3. 研究に用いる試料・情報の種類 情報：病歴、カルテ番号、病理診断報告書、病理解剖報告書 試料：昭和大学病院臨床病理診断科において病理診断を行ったあとに保存されていた病理標本（患者さまから新たな検体の採取をお願いすることはありません）
4. お問い合わせ先 本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご

了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：医学部臨床病理診断学講座 氏名：塩沢 英輔

住所：142-8555 東京都品川区旗の台 1-5-8 電話番号：03-3784-8122

研究責任者：

所属：医学部臨床病理診断学講座 研究責任者：塩沢 英輔